

奥州市社会福祉協議会

発展・強化経営計画

2021（令和3年度）－2025（令和7年度）



令和3年1月



社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

発展・強化経営計画の策定にあたって

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
会 長 岩 井 憲 男



奥州市社会福祉協議会は、平成 18 年 4 月に合併して今年で 15 年目を迎えました。

これまで、地域の皆様のお力をお借りして、地域における福祉の担い手であるご近所福祉スタッフの設置、地域住民による見守り活動とふれあいいきいきサロンの強化充実など、数多くの住民主体の取組みが評価され、平成 27 年 11 月には、全国社会福祉協議会長表彰を受賞することができました。

昨今の地域生活課題の変化に伴い、生活困窮者自立支援制度や社会福祉法人制度改革、地域共生社会の実現に向けた制度改革、令和 2 年に成立した社会福祉法の改正、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯の支援など、時代に即応した社協活動のあり方と健全経営の確立が求められています。

今年度、本会では第 3 次奥州市地域福祉活動計画、奥州市では第 3 期奥州市地域福祉計画を策定することにしており、市民と協働する 5 か年の福祉行動プランが整います。

この時にあたり本会では、次の 10 年を見据えた 5 年間の「発展・強化経営計画」を策定し、持続可能な組織づくりと事業ビジョンを定め、存在意義の明確化に取り組みました。職員による策定部会と作業チームが素案づくりを行い、5 名のアドバイザーからのご助言のもと役員協議会での協議を経て、理事会で策定したものです。

策定にあたっては、背伸びをせず実現可能な計画であること、めざすべき方向性を役職員が十分に理解し、市民から信頼され必要とされる組織づくりを進めるための方策であることを意図しました。そして、本会が地域福祉を進める中核機関としての責務を確実に遂行していくための基盤を整え、組織運営と事業展開をしっかりと発展させていくことを実施方針として決めました。

策定した内容の堅実な実行にむけて邁進してまいりますので、引続き市民のみなさま、関係機関や団体のみなさまのご理解とお力添えをよろしくお願い致します。

目 次

はじめに

1 発展・強化経営計画の策定にあたって	1 頁
2 目次	2 頁
3 これまでの事務事業等の主なあゆみ	4 頁

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の背景とねらい	5 頁
2 計画の期間	5 頁
3 計画の位置づけ	5 頁
4 計画の体系及び策定方法	6 頁
5 計画の策定項目	6 頁
6 計画策定の視点	7 頁
7 計画の進行管理と評価	8 頁

第2章 組織・財政等における現状と課題

1 奥州市の現状について	9 頁
2 奥州市社会福祉協議会の組織体制について	10 頁
3 奥州市社会福祉協議会の収支状況等について	12 頁

第3章 基本理念及び計画体系

1 奥州市社会福祉協議会基本理念（ビジョン）	17 頁
2 奥州市社会福祉協議会発展・強化経営計画の体系図	18 頁

第4章 実施方針の具体的な行動計画

1 信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し	
(1) 本所と地域の拠点（支所）	19 頁
(2) 事務事業の効率性と機能性	20 頁
(3) 機構の再検討	21 頁
(4) サービスの良質化	23 頁

2	法人運営と職員管理・育成の強化	
(1)	行動指針の制定	24 頁
(2)	理事の業務の明確化と選出区分等の検討	25 頁
(3)	適正規模の職員配置	26 頁
(4)	人材育成策の充実	27 頁
(5)	働きやすい環境づくり	29 頁
3	効果的な事業運営と財政基盤の確立	
(1)	会費・ささえあい協賛金の一元化	30 頁
(2)	補助・受託事業の適正化と新規国庫財源の確保	31 頁
(3)	限られた人材や財源による効果的な事業展開の模索	32 頁
(4)	公的財源減に対応する保有財産の利活用方針の設定	34 頁
(5)	安定した財源確保のための取り組み	35 頁
4	ニーズに基づいた事業展開と評価及び支援体制の確立	
(1)	社会資源（地域や関係機関）との連携強化	36 頁
(2)	福祉活動専門員の配置見直しと専門性の確保	37 頁
(3)	3部門の事業方針の設定	
①	地域福祉部門の事業方針	38 頁
②	介護福祉部門の事業方針	39 頁
③	児童福祉部門の事業方針	42 頁
(4)	災害対応の強化	43 頁

参考資料

1	発展・強化経営計画策定要綱	45 頁
2	アドバイザー委員会要綱	46 頁
3	アドバイザー委員名簿	47 頁
4	発展・強化経営計画部会員・作業チームメンバー名簿	48 頁
5	会議等実施状況	49 頁